

## 安全データシート (Safety Data Sheet)

### 1. 製品及び会社情報

製品名：穴あけジェル

用途：ダイヤモンドドリル等の刃先冷却用ジェル

販売者：株式会社ミヤナガ

兵庫県三木市福井2393番地

担当者：品質環境課 大熊喜雄 Tel. 0794-82-1781

Fax. 0794-82-0094

ホームページ：<http://www.miyanaga.co.jp>

緊急連絡先：株式会社ミヤナガ 品質環境課 Tel. 0794-82-1781

### 2. 危険有害性の要約

#### 【危険有害性情報】

#### ・健康に対する有害性

|                     |         |
|---------------------|---------|
| 急性毒性（経口）            | : 分類対象外 |
| 急性毒性（経皮）            | : 分類対象外 |
| 急性毒性（吸入：気体）         | : 分類対象外 |
| 急性毒性（吸入：蒸気）         | : 分類対象外 |
| 急性毒性（吸入：粉塵 / ミスト）   | : 分類対象外 |
| 皮膚腐食性 / 刺激性         | : 分類対象外 |
| 眼に対する重篤な損傷性 / 刺激性   | : 区分 2B |
| 呼吸器感作性              | : 分類対象外 |
| 皮膚感作性               | : 分類対象外 |
| 生殖細胞変異原性            | : 分類対象外 |
| 発がん性                | : 分類対象外 |
| 生殖毒性                | : 分類対象外 |
| 特定標的臓器 / 全身毒性（単回暴露） | : 分類対象外 |
| 特定標的臓器 / 全身毒性（反復暴露） | : 分類対象外 |
| 呼吸性呼吸器有害性           | : 分類対象外 |

#### ・GHS ラベル要素

該当なし

### 3. 組成及び成分情報

純物質もしくは混合物      混合物

| 化学名 | CAS No. | 重量パーセント  |
|-----|---------|----------|
| 水   | N/A     | 97.0 %以上 |
| その他 | N/A     | 3.0 %以下  |

その他の成分については非公開。

医薬用外劇物、特定疾病化学物質には該当しない。

#### 4. 応急措置

- ・吸入した場合  
新鮮な空気のある場所に移すこと。気分の悪い状態が続く場合には、医師に連絡すること。
- ・皮膚に付着した場合  
すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。炎症が生じ、続く場合には医師に連絡すること。
- ・眼に入った場合  
眼に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
- ・飲み込んだ場合  
口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。直ちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
- ・応急処置をする者の保護  
個人用保護具を着用すること。

#### 5. 火災時の措置

- ・消火剤  
現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと。
- ・使ってはならない消火剤  
利用可能な情報はない。
- ・特有の消火方法  
利用可能な情報はない。
- ・火災時の特有危険有害性  
熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
- ・消火を行う者の保護  
個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

#### 6. 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置  
作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸引しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
- ・環境に対する注意事項  
漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
- ・封じ込めおよび浄化の方法および機材  
乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる容器で回収する。
- ・回収、中和  
利用可能な情報はない。
- ・二次災害の防止策  
環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 7.1 取扱い

容器を転倒させ落下させ衝撃を与えまたは引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。

## 7.2 保管

## ・安全な保管条件

直射日光を避け、換気のよい50℃以下の場所に密閉して保管する。

## ・安全な容器包装材料

ポリエチレン

## ・混触禁止物質

強酸化剤

## 8. 暴露防止及び保護措置

## ・暴露限界

利用可能な情報はない

## ・保護具

呼吸器用保護具：保護マスク

手の保護具：保護手袋

眼の保護具：側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡）

皮膚および身体の保護具：長袖作業着、保護長靴

## ・適切な衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 形状

色

無色（保管状態により薄橙色に変色）

濁度

透明

性状

ゲル状

pH

中性（7.3～7.5）

融点・凝固点

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲

## 【成分単体として】

水

100℃

混合物として

データなし

引火点

データなし

蒸発速度

データなし

燃焼性（固体・ガス）

不燃性

燃焼又は爆発範囲

上限：

データなし

下限：

データなし

蒸気圧

データなし

|                                   |                         |
|-----------------------------------|-------------------------|
| 蒸気密度                              | データなし                   |
| 比重                                | 1.006 g/cm <sup>3</sup> |
| 溶解性                               | 水、アルコール類に混和する           |
| n-オクタノール / 水分配係数                  | データなし                   |
| 自然発火温度                            | データなし                   |
| 分解温度                              | データなし                   |
| 粘度（粘性率）                           | データなし                   |
| 動粘度                               | データなし                   |
| 10. 安定性及び反応性                      |                         |
| 安定性                               |                         |
| 安定性                               | 推奨保管条件下で安定              |
| 反応性                               | データなし                   |
| 危険有害反応可能性                         |                         |
| 通常の取り扱いではなし。                      |                         |
| 避けるべき条件                           |                         |
| 高温と直射日光、熱、炎、火花、静電気、スパーク           |                         |
| 混触危険物質                            |                         |
| 強酸化剤                              |                         |
| 危険有害な分解生成物                        |                         |
| 一酸化炭素（CO）、二酸化炭素（CO <sub>2</sub> ） |                         |
| 11. 有害性情報                         |                         |
| 2. 危険有害性の要約に記載。                   |                         |
| 12. 環境影響情報                        |                         |
| 残留性・分解性                           | 利用可能な情報はない              |
| 生体蓄積性                             | 利用可能な情報はない              |
| 土壤中への移動性                          | 利用可能な情報はない              |
| オゾン層への有害性                         | 利用可能な情報はない              |
| 13. 廃棄上の注意                        |                         |
| ・ 残余廃棄物                           |                         |
| 廃棄は、地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。     |                         |
| ・ 汚染容器及び包装                        |                         |
| 廃棄は、地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。     |                         |
| 14. 輸送上の注意                        |                         |
| ADR / RID（陸上）                     | 規制されていない                |
| IMDG（海上）                          | 規制されていない                |
| IATA（航空）                          | 規制されていない                |

## 15. 適用法令

|                  |          |
|------------------|----------|
| 消防法              | 非該当（不燃性） |
| 毒物劇物取締法          | 非該当      |
| 労働安全衛生法          | 非該当      |
| 危険物船舶運送及び貯蔵規則    | 非該当      |
| 航空法              | 非該当      |
| PRTR 法           | 非該当      |
| 貿易輸出管理令          | 非該当      |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | 産業廃棄物    |

## 16. その他の情報

この SDS は JIS Z 7253 : 2012 に準拠しております。記載内容は通常の取り扱いを対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど、特殊な取り扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

作成日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、全ての情報を網羅しているものではありませんので、新たな情報を入手した場合には、追加または訂正されることがあります。また、安全な取り扱い等に関する情報提供を目的としておりますので、物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なり、いかなる保証をなすものではありません。

全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので、取扱いには十分にご注意ください。

以上